

イエス、弟子たちに現れる

ヨハネによる福音 20:19-31

その日、すなわち週の初めの日の夕方、弟子たちはユダヤ人を恐れて、自分たちのいる家の戸に鍵をかけていた。そこへ、イエスが来て真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。そう言って、手とわき腹とお見せになった。弟子たちは、主を見て喜んだ。イエスは重ねて言われた。「あなたがたに平和があるように。父がわたしをお遣わしになったように、わたしもあなたがたを遣わす。」そう言ってから、彼らに息を吹きかけて言われた。「聖霊を受けなさい。だれの罪でも、あなたがたが赦せば、その罪は赦される。だれの罪でも、あなたがたが赦さなければ、赦されないまま残る。」

十二人の一人でディディモと呼ばれるトマスは、イエスが来られたとき、彼らと一緒にいなかった。そこで、ほかの弟子たちが、「わたしたちは主を見た」と言うと、トマスは言った。「あの方の手に釘の跡を見、この指を釘跡に入れてみなければ、また、この手をそのわき腹に入れてみなければ、わたしは決して信じない。」さて八日の後、弟子たちはまた家の中におり、トマスも一緒にいた。戸にはみな鍵がかけてあったのに、イエスが来て真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。それから、トマスに言われた。「あなたの指をここに当てて、わたしの手を見なさい。また、あなたの手を伸ばし、わたしのわき腹に入れなさい。信じない者ではなく、信じる者になりなさい。」トマスは答えて、「わたしの主、わたしの神よ」と言った。イエスはトマスに言われた。「わたしを見たから信じたのか。見ないのに信じる人は、幸いである。」

このほかにも、イエスは弟子たちの前で、多くのしるしをなさったが、それはこの書物に書かれていない。これらのことが書かれたのは、あなたがた

が、イエスは神の子メシアであると信じるためであり、また、信じてイエスの名により命を受けるためである。

説教

いつもは、旧約聖書、弟子の手紙、福音書から朗読箇所を選びますが、復活節ではイエスに焦点をあわせて新約聖書から3箇所の朗読をしています。わたしたちセカンドチャーチが礼拝をはじめてまる三年がすぎているので同じ聖書箇所の説教が二回目になっています。福音書からだけでなくほかにもとりあげられているところから読み解くやり方もあるのですが、きょうも福音書からお話します。

イエスのことば・行いを記録した書が福音書ですが、地上に生きたイエスに焦点をあわせて記録したいるせいか、復活したイエス・キリストのことばを記録している箇所はそう多くありません。きょう朗読したヨハネ福音書の20章はそういう意味で特別な福音といえます。

その日、すなわち週の初めの日の夕方、弟子たちはユダヤ人を恐れて、自分たちのいる家の戸に鍵をかけていた。そこへ、イエスが来て真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。20:19

イエスは重ねて言われた。「あなたがたに平和があるように。父がわたしをお遣わしになったように、わたしもあなたがたを遣わす。」そう言ってから、彼らに息を吹きかけて言われた。「聖霊を受けなさい。だれの罪でも、あなたがたが赦せば、その罪は赦される。だれの罪でも、あなたがたが赦さなければ、赦されないまま残る。」20:21-23

イエスはトマスに言われた。「わたしを見たから信じたのか。見ないのに信じる人は、幸いである。」20:29

- 1) 主の平和があるように→主の平和を求めなさい
- 2) あなたがたを派遣する
- 3) 聖霊を受けなさい
- 4) 罪を赦しなさい

5) 見ずして信じなさい

箇条書きにして整理するとこの5つのことを復活したイエスは弟子たちに伝えました。どれも大切な教えですが、きょうは「罪を赦す」ということを考えて見ます。

世界レベルであばれんぼうと悪口をたたかれる人物がいます。かつてはイランのフセイン大統領だったり、リビアのカダフィー大佐でしたが、両人とも殺害されました。いま日本であばれんぼうのレッテルを貼られているのは北朝鮮の金正恩第一書記でしょう。きょうもアメリカで韓国の大統領、日本の首相はアメリカの大統領とどうやってやっつけるかという相談をしているとニュースは報道しています。

一方ではキューバとアメリカが和解したというニュースもあります。仲介にはローマ教皇フランシスコが一役買ったそうです。ケネディ大統領が原爆落とすぞとキューバのカストロ首相を脅していたのは過去のこととなり和解が成立したのはほんとうにうれしいことです。またその和解にローマ教皇が尽力したということも誇らしいことです。

国の争いごとは絶えることがありません。しかし復活したキリストは罪を赦しなさいと教えています。わたしたちは国家レベルでこの赦しを想像、イメージすることもできますが、個人レベルでも真剣に考え、イメージすることが必要です。

ある人が医療過誤で大切な家族を亡くします。担当した医者、その病院に非があった、直接の死因は医者のミスです。その人は赦すことができません。裁判をして裁こうと医療事故専門の弁護士に相談します。

その人は、裁判をおこして死んだ人間が生き返るわけではない、しかしこの苦しみをもう二度とほかの人が味わうことのないようにあの病院、あの医者を裁いて罪の償いをさせるのだ、と告訴理由をいいました。

十字架につけられたイエスは復活して弟子たちに現れました。そしてこうい
いました。

**「聖霊を受けなさい。だれの罪でも、あなたがたが赦せば、その罪は赦される。だれの罪
でも、あなたがたが赦さなければ、赦されないまま残る。」**

わたしたちは本当に赦すことのできない人間だとおもいます。あるときイエ
スはこういいました。

あなたたちの中で罪を犯したことの無い者が、まずこの女に石を投げなさい。ヨハネ 8:7
このとき誰も石を投げることができずにその場を立ち去ったと福音は伝えて
います。

わたしたちは自分自身の深い自省によって手にした石をそっと置くことがで
きるのでしょうか。違ふとわたしは考えています。わたしたちはいったんは
石を置いた振りをすることはできます。しかし、心の中でその石をギュッと
握ったままでいます。わたしたちには石を置くことはできないのだとおもい
ます。しかし復活のイエスはこう教えます。

**「聖霊を受けなさい。だれの罪でも、あなたがたが赦せば、その罪は赦される。だれの罪
でも、あなたがたが赦さなければ、赦されないまま残る。」**

聖霊を受けることであなたは赦すことができるようになる、聖霊を受ければ、
あなたは人を裁かず赦す人となる、と。

主の平和がみなさんの上に、そしてこの地上にありますように。
